



茜の空

令和5年度 第1号
発行日 4月17日(月)
練馬区立石神井南中学校
校長 木原賢三

令和5年度を迎えるにあたり

校長 木原賢三

正門の桜も花開き、春の息吹を感じる季節、125名の新1年生を迎え、全校348名の生徒とともに令和5年度がスタートしました。今年度4月に着任いたしました校長の木原賢三です。伝統ある石神井南中学校をさらに向上させ、子供たちの可能性を十分に発揮できる、そのような学校づくりに精進して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

長らく続いた新型コロナウイルス感染症の影響で学校行事が中止または縮減されてきましたが、4月以降、手洗い、咳エチケット及び換気等の基本的な感染症対策を講じたうえで、可能な限り通常の教育活動が実施することができるようになりました。生徒たちにとって中学校生活3年間は、それぞれの生き方の基礎を築く貴重な時期となります。授業だけでなく、部活動、生徒会活動等を通して、学友とともに学びあい、励ましあい、支えあってそれぞれの目標に向かって精一杯チャレンジし、心身ともに大きな成長ができるよう支えていきます。

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。生徒たちは新しい春の訪れとともに、新たに新しい学年への期待感、引き締まった緊張感がみなぎっているように思えます。生徒の皆さんが「石神井南中学校プライド」をもち、自信と誇りをもって中学校生活をおくることができるよう、積み上げてきた本校の素晴らしい教育活動を継承するとともに、全力を尽くして更なる教育の推進を目指していきます。

新年度の始まりにあたり、本年度の学校経営の方針をお知らせいたします。

＜＜教育目標＞＞

＜多様性の時代に、主体性と寛容性を併せもち、他者と力を合わせてより良い社会を創る人＞

- (1) 自分と他者を共に認める人
- (2) 自ら学び、社会で生かせる人
- (3) 自他の健康を考え、実践する人

教育目標の達成を目指し、生徒たちにとって、そして学校にとって大きな成果が上がるように様々な教育活動を実践して参ります。その中で、生徒一人ひとりの自己有用感を高めることにより、個々の自立と社会の一員としての自覚を深めさせていきます。また、生徒には「思いやりの心」をもち、「自らすすんで学ぶ姿勢」と「自立する姿勢」を育ててまいります。価値観の多様化や多様性がすすむ変化の激しい社会の中で、他者の気持ちになって気遣いができ、他者の意見や考えを尊重し、寄り添える人、自らすすんで考え、行動し、地域社会において活躍できる自立した人に成長してほしいという願いからです。主役である生徒たちが石神井南中生でよかったと実感できるように、より一層保護者・地域の皆様から信頼される学校にまいります。生徒たちの健やかな成長は、家庭と地域と学校が一体となって見守っていき、それぞれが責任を果たし、互いが協力・連携を図りながら育むことで実現できると思います。本年度も保護者の皆さまのご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。